

琵琶のひびき〜心と情を語り継ぐ

目をつむって心で聴く！

講師 奥村 旭翠氏
(人間国宝、筑前琵琶奏者)

羽衣

羅生門

令和元年 6月16日(日)

午後2時〜3時30分(1時開場)

会場 テクスピア大阪
(泉大津市旭町22-45)



【プロフィール】

1951年大阪市生まれ。日本の伝統音楽の一つである筑前琵琶に魅せられ、22歳のとき山崎旭萃(きょくすい、後に人間国宝)氏と出会い弟子入り。1996年大阪文化祭賞に輝き、2007年に筑前琵琶日本橋会「大師範」となる。2013年の伊勢神宮式年遷宮に当たり琵琶曲を奉納し、2016年に重要無形文化財保持者(人間国宝)に認定された。藤井寺市で旅館を経営。びわの会を主宰し、日本琵琶楽協会関西支部長、筑前琵琶連合会常任理事。

【講師からのメッセージ】

いつの時代に移り変わっても人としての心情は変わることなく私達に受け継がれています。歴史の物語の世界を繰り広げる琵琶の語りは、時には物悲しく、あるいは豪壮に、また華々しく表現されます。そしてそこには日本の心とともに、豊かな感性の中に深い情愛が語られます。このたび、泉大津市の皆様には心ゆくまで琵琶の音とともに過ごしていただきたく思います。きっと皆様の心を魅了することと思います。

内容

「羽衣」(合奏、びわの会)、「琵琶と私」(対談)、「敦盛」(奥村旭翠氏)、「茨木」(奥村旭翠氏)※曲目は変更になる場合があります。